

(2) 暖房機の燃焼・伝熱効率を向上させるための点検

目標：暖房機の整備により、本来の熱効率を発揮させる。

ア. 暖房機の清掃・点検（ネポン社 ハウスカオンキの例）

(ア) 暖房機の熱交換面（缶体）の清掃

- ① 清掃する前に必ず電源を切る。
- ② カオンキ後部（煙突側）の煙室ふたを外し、スクリュープレートを抜く。
- ③ 煙室にたまったカスを掃きだし、スクリュープレートの汚れをワイヤブラシなどで落とす。
- ④ 煙管にたまったカスは、燃焼室側に押し出し、バーナ下の掃除口から掃きだす。

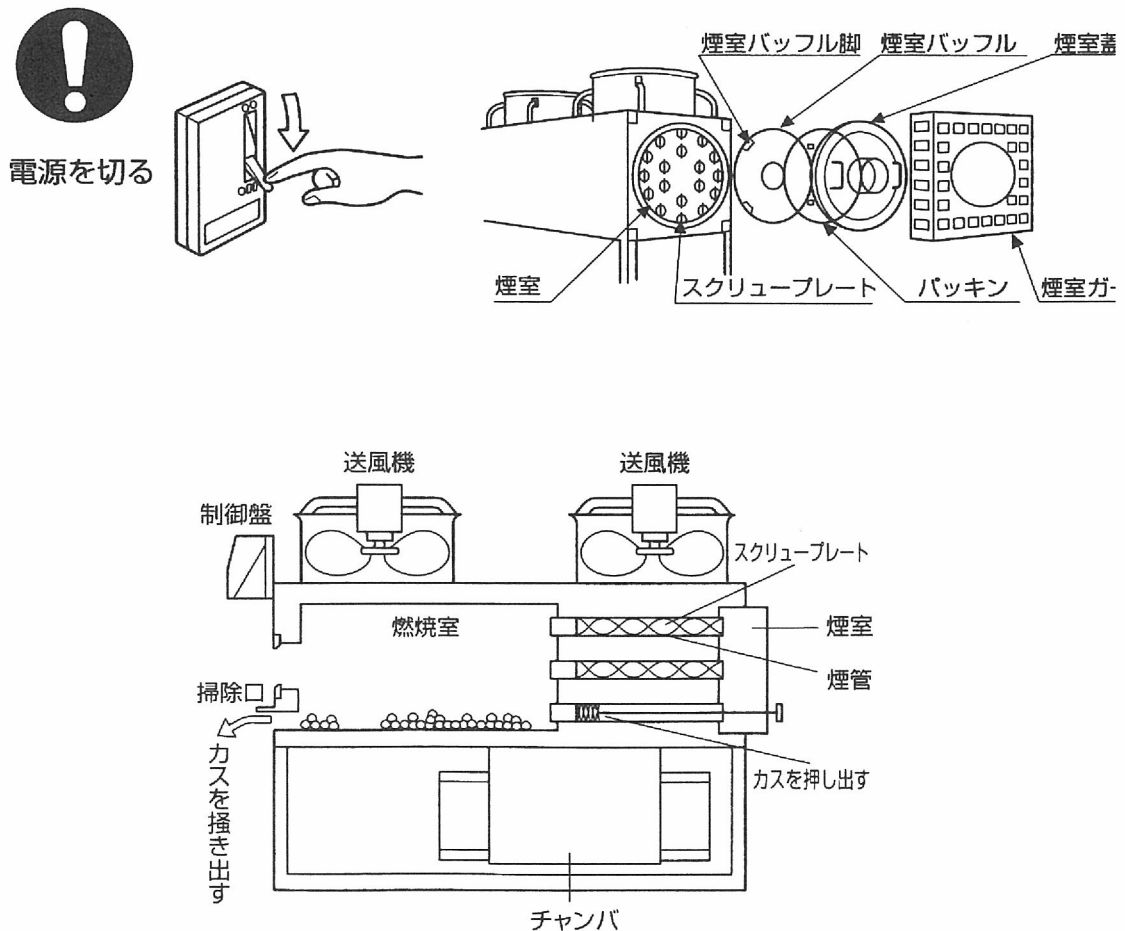


図 III-1-3 缶体の清掃【全農ウィークリー Vol. 315 より】

(イ) バーナノズル周辺のディフューザ回りのススや汚れの除去

(ウ) ノズルの交換

- ① ノズルの目詰まりも暖房効率を減少させるため、古いものを使用している場合は、交換するようにする（ノズル本体をブラシなどで傷つけると、燃焼不良の原因となるため、新品に交換する。目安：1年ごともしくは10k1消費ごとに交換）

(エ) 適正な燃焼のための空気量（エアーシャッター）の調整

- ① エアーシャッターを閉めて、煙突から黒煙を発生させる。
- ② エアーシャッターを徐々に開けて黒煙の発生が止まる位置から少し開けた位置に調整する。

(オ) 燃焼用空気取り入口の設置

- ① ハウスの密閉度が高くなると夜間の燃焼用空気が不足するので、燃焼用空気取り入れ口を設置する。

イ 野外配管の断熱点検

- ① 温湯暖房機で野外に配管がある場合には、野外配管からの放熱を防ぐため、断熱資材等で覆う。